

			科目コード	304
科目名	ヘルスプロモーション展開論 (Health Promotion)		開講学科	看護学科
選択区分	選択	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)	履修時期
				4 年次前期
担当教員	入野 了士、野村 美千江、(未定)		科目区分	専門科目
授業概要	人々の生活と健康を継続的にアセスメントし、地域特性や顕在的・潜在的健康課題を見出す過程、健康課題に対する支援を計画・立案する過程、活動を展開し評価する過程について、砥部町のヘルスプロモーション活動等を基に教授する。また、事業の企画立案の考え方が理解できることを目指す。			
授業目標	1 地域をアセスメントし、その特性や顕在的・潜在的健康課題を見出すことができる。 2 個人や地域の健康課題に対する支援を計画・立案する過程を説明することができる。 3 保健活動を展開し評価する過程を説明することができる。 4 担当した地区のニーズに応じた事業を企画立案評価の過程を理解できる。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者	
1	ヘルスプロモーション理論とその活用	ヘルスプロモーション理論、理論を活用した学習の枠組み 砥部町における公衆衛生看護学実習のガイダンス	入野了士 野村美千江 (未定)	
2	地区診断における二次資料の活用	地区診断の目的と方法、二次資料を活用した量的・質的データの統合から事業企画へ ○既存資料・県や町のHP・保健統計・各種調査・国保医療費・健診結果などの既存資料からデータ収集し、国や県・同規模町との比較により、町全体を診断する。		
3～4	砥部町のヘルスプロモーション活動 —支援計画の立案・実施・評価の過程 (PDCA)	パネラー (教育協力者3名) を迎えてディスカッション ①保健センターを拠点としたヘルスプロモーション自治体として住民の健康を守る施策と体制 ②地区の健康課題の明確化と保健活動計画立案 住民の声を活かした地域アセスメントと事業立案 ③高齢者の生活実態・健康課題と施策 地区の保健活動における PDCA		
5～6	地区診断演習	○実習で受持つ砥部町4地区のデータの統合と資料化 ○地区踏査の準備 ○健康課題の分析		
7～8	健康と生活に関するデータの収集と判断	○データベースアセスメントに必要な質的情報の収集 ○住民や関係機関を対象としたインタビューで用いるインタビューガイドの作成		
9～12	社会システムへの働きかけ	地域の人々の健康と生活のモニタリング 受持ち地区への働きかけ (出前型健康教育)		
13～14	地域アセスメントの充実	○現在把握しているデータと新たに把握したいデータの整理 ○補完したいデータの内容と収集方法		
15	まとめ	ヘルスプロモーション理論とその活用に関する総括 地区踏査計画の作成と共有		
成績評価方法	個人学習の成果評価 50%、グループ学習の成果評価 50%			
教科書	佐伯和子編「公衆衛生看護技術 (公衆衛生看護学テキスト2)」(医歯薬出版) 厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標 2016/2017」			
参考書	○宮内清子「保健師の基軸をつくる公衆衛生看護キーワード・ナビ」(インターメディカル) ○島内憲夫翻訳「ヘルスプロモーション—WHO:オタワ憲章(21世紀の健康戦略)」(垣内出版) ○L.W. Green 著・神馬征峰翻訳「実践ヘルスプロモーション—PRECEDE - PROCEED モデルによる企画と評価」(医学書院) ○医療情報科学研究所編「病気がみえる vol. 2 循環器 第3版」(メディックメディア) ○ 「病気がみえる vol. 3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版」(メディックメディア)			
備考	公衆衛生看護学実習前に開講する。			